

佐竹南家 御日記 第七卷

自 宝永六年 至 正徳五年

「佐竹南家御日記」は湯沢の所領であつた佐竹南家の御用所において天和二年（一六八二）から慶応四年（一八六八）まで書き継がれた公用日記である。地方武士の暮らしや農業、商業、交通、宗教、気象など詳細に記され、当時の社会事情を知る貴重な近世史料である。
本書は、宝永六年（一七〇九）から正徳五年（一七一五）までの六年分（正徳二年は欠本）を収録したものである。

○ 五代將軍綱吉逝去の知らせがある（宝永六年正月）

○ 黄檗派の寺院長亨庵が前森町に建立される（同年九月）

○ 巡見使三人湯沢を通る。殿様平清水街道まで出迎える（宝永七年五月）

○ 武家諸法度の御書付が久保田から遣わされる（同年七月）

○ 南家義安が二月中、中御門天皇への参内を勤める（宝永八年三月）

○ 町人や百姓が刀を差して旅行すること多々あり取り締まる（同年三月）

○ 江戸の大火により秋田藩上屋敷、浅草屋敷、西屋敷、壱岐守屋敷ともに類焼する（正徳三年十二月）

○ 藩社奉行による神社調査が行われる（正徳四年三月）

○ 藩主義格逝去。殉死停止のこと仰せ渡される（正徳五年七月）

○ 御用所の休日が三日、九日、十三日、十九日、二十五日と定められる（同年八月）

◎ A5判・上製・布クロス装・函入

◎ 本文Ⅱ八三八頁

◎ 二五〇部出版

◎ 定価八、〇〇〇円（税込み）



◎発行＝湯沢市教育委員会（〒012-0105 秋田県湯沢市川連町字上平城120）
TEL 0183-42-5810 FAX 0183-42-2670

佐竹南家御日記第1巻	天和 2年～貞享 3年	8,000円
第2巻	貞享 4年～元禄 4年	8,000円
第3巻	元禄 5年～元禄 8年	8,000円
第4巻	元禄 9年～元禄 12年	8,000円
第5巻	元禄 13年～元禄 16年	8,000円
第6巻	宝永 元年～宝永 5年	8,000円

（頒布価格は全て税込み）

待望の「第七巻」刊行される!!